



ハマオーレ

# HAMA OLE!

認知症カフェの運営に関わる  
みんなの情報誌

Vol.2

## 特集：認知症カフェそれぞれのスタイル

美味しい  
食事に誘われて  
あざみ野  
オレンジバル

音楽で結ばれる  
人の輪  
結うカフェ

認知症になっても  
生き生き活躍できる場

Sカフェ

# あざみ野オレンジバル

青葉区

開催場所

「そばくろ」  
(あざみ野駅徒歩96秒)

開催日時

毎月1回水曜日 18:30~

参加者

本人・家族・医療従事者・介護従事者  
地域住民20~25人

スタッフ

医師2人、病院スタッフ3人

参加費

3,000円(飲食代)



カフェについて教えてください!



## Q1 飲食店との連携のきっかけを教えてください

横浜市認知症疾患医療センターの長田乾医師が「夜に美味しい食事とお酒を楽しみながら、気軽に話し合える場を作ろう」と企画し、地元商店会の会長も務める「そばくろ」店主の黒沼勤さんの全面的な協力を得て、開催に繋がりました。

## Q2 カフェの雰囲気をお願いします

終始リラックスした雰囲気の中で、当人同士も自分で好きな飲み物を選び、普段と違う食事とともに和気あいあいと語らう場となっています。参加者同士が、飲み物やおつまみを片手に思い思い自由に語り合うので、店内はとても賑やかです。

## Q3 コロナ禍での開催の工夫をお願いします

会場に来られない方も好きな場所からリモートで参加できるように、店内にはPCとカメラ、モニターを設置してオンライン配信を行っています。リモートの参加者も、食事や飲み物を片手に、代わる代わる現地の参加者と語り合い、楽しい時間を過ごしています。



# 夜にみんなで食事とお酒を 楽しみながら語り合う場



## 特徴 1

貸し切り営業にてカフェを  
開催しています



## 特徴 2

良い匂いに誘われて、常連さんや、初参加、出張ついでの  
医療関係者など、偶然の出会いもあります



## 特徴 3

オンラインで配信しています。



参加者、スタッフの垣根を  
越えて沢山しゃべって  
ストレス発散!

申し込み方法や  
アピールポイント  
など



当日は決まった流れやプログラムはありません。誰が当事者で、誰が介護者・医療従事者・地域住民であるかを明確に区別せずに、どなたでも気軽に集える場となっています。  
Facebook を通して情報を発信しています。(問い合わせ先 メール:brain@yokoso.or.jp)

# ゆ 結うカフェ

泉区

## 開催場所

音楽スペース「おとむすび」  
(中田駅徒歩2分)

## 開催日時

毎月第2日曜日 13:00~15:00

## 参加者

本人3人、家族3人、近隣の方5人

## スタッフ

キャラバン・メイト1人、音楽療法士等3人、  
おとむすびの活動に興味を持っている方

## 参加費

200円(お茶代)



カフェについて教えてください!



### Q1 活動の内容を教えてください

ここでは音楽を中心に参加者が主体となるよう進めています。その中で出てきたエピソードから自然に音楽活動に誘っています。楽器や歌で加わる方、思い出を語る方など思い思いに音楽に触れながら「共にいる」感覚を楽しむ。そんな時は一番盛り上がります。

### Q2 カフェのコンセプトである「音楽と人を結ぶ 音楽で人を結ぶ」とは?

認知症になっても音楽の記憶は残存している事が多く、ご家族の方には当事者と共に過ごす穏やかな時間になったり、認知症の方と接点のない方にとっては理解や興味を促す契機となる場を目指しています。

### Q3 運営のこつを教えてください

一人で頑張らない。色々な人の手を借りる。そして何より参加者の力を借りる事です。立ち上げは地域ケアプラザや社会福祉協議会に相談し、民生委員やタウンニュースの方に見学してもらい地域に周知しました。そして今では参加者の力を借りて楽しい企画が次々と広がっています。



# 音楽のある認知症カフェ & 認知症予防



## 特徴 1

聴いて・しゃべって・歌って・笑って  
心身共にフル回転



## 特徴 2

認知症に対する誤解をなくしていきたい  
大通りから見える様に認知症カフェの旗をなびかせています



## 特徴 3

グランドピアノからの音色に  
気持ちリラックス



## 特徴 4

持参の楽器で腕前を披露



## 特徴 5

認知症であってもなくても  
音楽を通じて一体感が生まれます



## 特徴 6

出入り自由 予約不要



認知症カフェに  
かわる方への  
メッセージ



2021年10月からはじめてまだ1年ですが、参加者に「また来よう」と思ってもらえることが継続につながると考えて、一歩ずつ試行錯誤しながら進んでいるところです。その人らしく居られる場を目指しています。

# Sカフェ

港北区

## 開催場所

横浜市総合保健医療センター内  
1階ロビー（新横浜駅徒歩10分）

## 開催日時

毎月第2火曜日 11:00~13:00

## 参加者

若年性認知症当事者3人、  
家族3人、お客様30人

## スタッフ

ボランティア3人、センター職員2人

## 参加費

100円（コーヒー代）



手作りの看板が目印です



運営者の方へ、カフェについて教えてください。

Q1

カフェとして工夫していることは？

若年性認知症当事者の方やご家族に、できる限り役割を持っていただきカフェを通じて活躍できる機会を作っていくことを意識しています。

Q2

これから「Sカフェ」をどんなカフェにしていきたいですか

まずは若年性認知症当事者の方やそのご家族が気軽に訪れることができる居場所としたいです。さらには希望する当事者の方が、カフェのスタッフとして活躍できる場にしたいです。



当事者の方へ、参加について教えてください。

Q1

参加したきっかけはなんですか

病気の進行を予防するために何か活動できる場がないかと思っていたところ、担当医の先生からSカフェのことを勧めてもらい参加するようになりました。

Q2

どんなことをしていますか

カフェのボランティアスタッフとして、お湯を沸かしたり、器具のセッティングなどの準備のほか、入れたコーヒーをお客様にお出しする仕事をしています。Sカフェを通じて色々な方と知り合うことができ、世界が広がったと感じています。





# 若年性認知症の当事者がおもてなし 本人が活躍するカフェ！！

Sカフェ

## 特徴 1

美味しいと大好評



## 特徴 2

毎回、あっという間に売り切れます



ホッと 一息!!



コーヒーの香りが漂う  
医療センター内で開催しています



認知症カフェに  
かわる方への  
メッセージ



長く続くコロナ禍の中でカフェの運営もままならないことが多いと思います。  
-----  
このような状況の中ですが、当事者やご家族の居場所が失われないよう、  
-----  
何とか工夫しながら続けていきたいですね。

## 認知症カフェ運営者の方へ



カフェを手伝ってほしいと思ったら  
「まちかどケア (HP)」で募集してみませんか？！

気になるあの人を  
カフェまで連れてきて  
ほしいなー

お話し相手に  
なってくれる人は  
いないかな...

一緒にレクリエーションを  
考えてくれる人は  
いないかな？



お待ちしております！

小菅聡一郎

小川由起子



まちかどケア 検索



市民セクターよこはま (横浜市認知症サポーターキャラバン事務局)  
メール: [mate@shimin-sector.jp](mailto:mate@shimin-sector.jp) 電話: 045-222-6501

ハマオーレ

# HAMAOLE!

## タイトルの由来

横浜の「Hama」そして、認知症のイメージカラーのオレンジの「オレ」をスペイン語の「Ole!(喝采)」とかけて組み合わせました。横浜市の認知症カフェが活気に満ち溢れるように、オーレ!とエールを贈る冊子となるよう願いが込められています。

発行元

横浜市健康福祉局 高齢在宅支援課 TEL:045-671-4129 FAX:045-550-3612

発行 令和5年3月 ※記事作成については感染対策の上、取材を実施しています。